

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
永井 良三
堀江 孝至

〈編集委員〉

和泉 徹
小川 聡
巽 浩一郎
橋本 修
平山 篤志
福田 恵一
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
大江 元樹
北風 政史
小山 信一郎
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

最近、病棟を回診して思うことは心房中隔欠損症の多さである。以前は年に数人しか入院がなかったが、現在では毎週1名以上の新規入院がある。もちろん、これは河村朗夫講師がアンブラッツァーによる欠損口閉鎖術を行っているため、東日本の多くの施設から紹介があるからだ、これだけ多くの症例を見ているといくつか思うことがある。心房中隔欠損症は多くの遺伝子異常が関与するとされる多因子遺伝であることが知られている。しかし、これらの症例のうち、アイゼンメンジャー症候群に移行するものはごくわずかである。肺体血流比(Qp/Qs)が大きいものほど肺高血圧症を合併し、アイゼンメンジャー化する傾向があるが、これはQp/Qsが小さいと肺高血圧症になりにくいというだけで、必ずしも一定の傾向は無い。

すべての疾患が遺伝要因と環境要因の双方の影響を受け、その寄与の程度により遺伝性疾患と呼ばれたり、『あなたは糖尿病の遺伝素因を持っています』などと言われる。心房中隔欠損症は遺伝要因が強い疾患であるが、アイゼンメンジャー症候群化する症例は特殊な遺伝子異常が関与するものなのか、あるいは肺血流が多いことが血管のシェアストレスを介し平滑筋肥厚をもたらす生じるものなのか？シェアストレスが関与するとすれば、血管内皮細胞から分泌されるエンドセリンやケミカルメディエーターを介した局所炎症ということになるが、症例間の個人差を炎症の質と程度で説明するのか、それともそこにも遺伝要因が関係すると説明するのか、現時点では分からない。

大学は未来の医療を切り開くのが使命である。これだけ多くの症例を診ている立場からすると、この機序の解明を放置しておくのは、天命に逆らうことになるのではないかなどと考えてくる。また一つ肩の荷が重くなる思いをしながら、どうアプローチすべきかを考える今日この頃である。(福田恵一)

呼吸と循環(第60巻 第11号)

2012年11月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,835 円(本体 2,700 円+税 5%)

2012 年年間購読料
 (冊子版 32,400 円 冊子+電子版/個人 37,400 円)
 (冊子+電子版/共有 42,300 円)
 (電子版/個人 32,400 円 電子版/共有 37,300 円)
 (税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 吉富・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** (株)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。